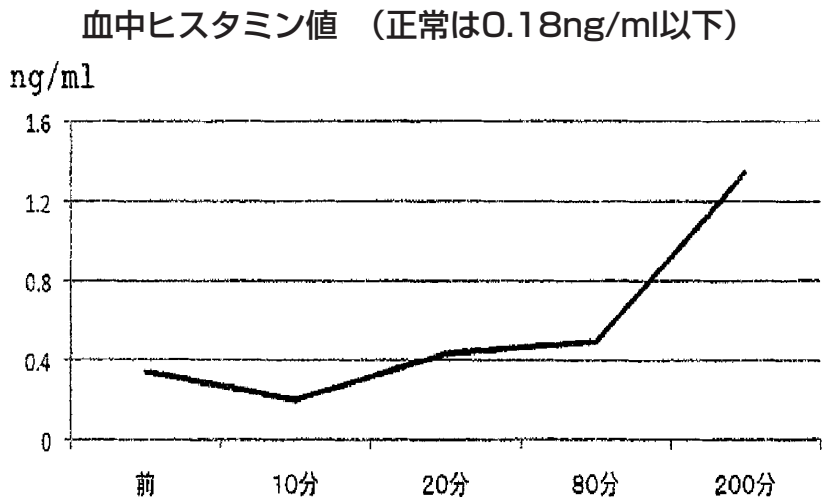


＝ 病院の理念 ＝
 人間の尊厳と患者の権利を守り、安全・安心の医療、差別のない医療、納得の医療を患者様や地域の方々とともに目指します。

東葛の健康

No. **334** **5** 2012年
 月号
 毎月5日発行
 定価1部20円
 発行 東京勤労者医療会東葛病院
 院長 下 正宗
 〒270-0174 千葉県流山市下花輪409
 TEL 04 (7159) 1011
 FAX 04 (7158) 9202
 http://www.tokyo-kinikai.com/toukatsu/

幅広いアレルギー疾患に診断対応



食物依存性運動誘発アナフラキシーの診断例

この病気は、特定の食物を食べた後に運動すると、アナフラキシー症状がおきるもので、典型的な場合、じんましん、喘鳴、咽頭痛、呼吸困難、嘔吐などが起きます。原因として、体内でヒスタミンをいう物質が増え、アレルギー症状を起すと考えられています。

ある男子高校生が、給食後にサッカーをしたら、嘔吐、全身のじんましんなどがでたという事で相談にいら

れましました。そこで原因と思われるブリの照り焼きを食べた後、エルゴメーターという運動器具で運動をする検査を行いました。

運動後2時間ほどして、全身にじんましんが出はじめましたが、抗ヒスタミン薬の内服で間もなく改善しました。図のように、体内のヒスタミン値が増えており、これが症状のおきた原因と考えられました。

増加するアレルギー疾患

アレルギーの病気が増えています。生活様式の変化など、増える要因はいろいろいわれていますが、環境が清潔になるとアレルギーの病気がおきやすくなるというのが最近の考え方です。

球には、感染がおきると増えるリンパ球と、清潔な環境になると増えるリンパ球の2種類があり、後者はアレルギーを起す働きをもっているといわれています。

東葛病院の医療
小児医療
 アレルギー科・小児科



小児科 伊東 繁 医師 (東葛病院副院長)

ぜんそくやアトピー性皮膚炎、食物アレルギーなどのアレルギー疾患の患者様が増えています。東葛病院は千葉県内でも有数のアレルギー疾患の患者様を診ています。小児科アレルギー科の伊東繁医師に、増えるアレルギー疾患の現状について聞きました。 編集部

そこで、都市化がすすみ、環境が清潔になっていくと、アレルギーの病気がふえてくるというのです。

足りないアレルギー専門医

アレルギーの病気は増加傾向ですが、アレルギー専門医は少なく、ここ東葛北部医療圏でもアレルギー専門医が診療をしているのは、愛友会記念病院、小張総合病院、東葛病院などだけです。

多くのアレルギーの患者さんは一般内科、小児科などでの対応を

余儀なくされているのが実情です。

東葛病院のアレルギー診療

当院のアレルギー外来では、さまざまなアレルギー疾患の診断と治療を行っています。お子さまの急性湿疹や食物アレルギーからおとなの薬剤アレルギーなど、あるいは、アレルギーかどうか調べてほしいという方など、幅広く対応しています。

中でも小児のアトピー性皮膚炎や食物アレルギーは、治療や検査の実績もあり、多くの患者さんの支持を得ています。

次代を担う若い力44人が入職



今年も44人の新入職員が入職しました。法人と病院での集合研修と他職種と混合の6人に分かれてグループ研修を受けました。7つのグループでは集合研修後、時間外も使って国保問題や消費税増税問題、子育て支援問題など、テーマを決めて学習し、問題を掘り下げました。

新入職員たちは現場に配属されて覚えることで手一杯ですが、「民医連がなぜ社会保障充実の運動をするのか」を学び、5月18日の「青年国会研修」に向けて頑張っています。

社保協の運動が力に！

現在、流山市では乳生まで拡大される予定の幼児・小学校3年生の入院費と通院費は、自己負担が2000円。入院は一日当たり2000円です。小学校4～6年生の入院費は、医療機関の窓口で支払った医療費の領収書などの書類を申請することで受けられるよう助成されています。

今年12月から千葉県制度拡大大に伴い、入院の医療費については中学3年生まで拡大される予定です。

3月市議会では、日本共産党が提案した中学3年生まで拡大することを求める知事への意見書が圧倒的賛成多数で採択されるなど、世論と運動は大きく広がっています。

東葛病院と健康友の会も加わる社会保障推進流山市協議会ですすめてきた運動が実る方向で、引き続き、

子どもの医療費助成制度が 中学3年生まで拡充へ

3月市議会では、日本共産党が提案した中学3年生まで拡大することを求める知事への意見書が圧倒的賛成多数で採択されるなど、世論と運動は大きく広がっています。

東葛病院と健康友の会も加わる社会保障推進流山市協議会ですすめてきた運動が実る方向で、引き続き、

の。最も社会保障を必要としている人たちが、最も負担が重くなる消費税。全日本民医連の調査で、昨年1年間で経済的理由による手遅れ死亡者は67人。社会保障の財源は、ムダの一掃、大企業に十分な負担、不足分は所得の応能負担で。▼消費税増税に頼らない社会保障の充実の改革(日本共産党)が反響を呼んでいます。マスコミは、消費税増税に頼らない道の報道をなぜ避けるのか。権力の監視という任務を忘れてはいけません。(熊)

聴診器

先日、消費税増税反対署名活動に参加しました。ある方が「800兆円の借金子どもに代まで残る」と話しました。97年橋本内閣の消費税増税で暮らし、経済、財政危機をさらに深刻にしました。国は消費税増税の理由に社会保障費の増大を挙げ、マスコミも増税やむなしの宣伝を展開しています。しかし社会保障は改善、1m1億円の道路や一機99億円の戦闘機、ケアム米軍基地建設費、大金持ちへの減税するなど、筋の取らない話です。▼社会保障とは負担能力が十分にある人が多く財源を負担し、生活が厳しい人が受けるもの。最も社会保障を必要としている人たちが、最も負担が重くなる消費税。全日本民医連の調査で、昨年1年間で経済的理由による手遅れ死亡者は67人。社会保障の財源は、ムダの一掃、大企業に十分な負担、不足分は所得の応能負担で。▼消費税増税に頼らない社会保障の充実の改革(日本共産党)が反響を呼んでいます。マスコミは、消費税増税に頼らない道の報道をなぜ避けるのか。権力の監視という任務を忘れてはいけません。(熊)

シリーズ 地域の願いに応える 新病院建設

東葛病院・建設委員会報告

みなさんの声が届く 病院づくり

東葛病院事務局長 大平 潔

門、病棟部門、中央診療増やしてはどうか、産婦人科は現在4床です部門に分けて具体的検討をすすめています。

私たちは新病院建設にあたりどんな医療をを目指すのか、地域からの医療要求や期待にどう応えていくのかなど、さまざまな声や意見を拝聴しながら、医療構想をつくりあげてきました。

「すべては患者さんのために、すべての職員、共同組織(友の会)、地域の方々の力で考えていく」ことを柱に、その目標は、地域に根ざした全人的医療を掲げ、提供できる病院を目指すことでした。

東葛病院は急性期から慢性期まで総合的に関わる病院として活動してきており、引き続きこれを維持・発展させます。

現在、建設委員会を中心に医療構想を土台とした基本設計の検討に入っています。基本設計は病院建築の骨格を決める大切な作業であり、念な検討が必要となります。作業部会として外来部



つくばエクスプレス(TX)流山セントラルパーク駅前の建設予定地で現地調査を行う建設委員

つくばエクスプレス(TX)流山セントラルパーク駅前の建設予定地で現地調査を行う建設委員

地域協同基金・寄付金・特定協力借入金
(無利息・無期限) (年利1.5%・期間5年)

みなさまのご協力をお願いします

応募方法 申込用紙は、東京勤医会の各事業所窓口にて用意しております。

歯を失う2大原因は、虫歯と歯周病です。虫歯は初期段階で治療しておけば、抜くような状態になることはありません。注意しなければならぬのは歯周病です。歯肉に炎症が生じて歯を支えている骨が破壊され、最終的には歯が抜けてしまいます。



歯科知っていましたか?
①歯を磨くと歯肉から血や膿が出る。
②歯肉が赤く腫れてきた。
③口臭がする。などの症状が出たら、歯周病です。

歯を失う2大原因は、虫歯と歯周病です。虫歯は初期段階で治療しておけば、抜くような状態になることはありません。注意しなければならぬのは歯周病です。歯肉に炎症が生じて歯を支えている骨が破壊され、最終的には歯が抜けてしまいます。

歯周病は慢性疾患
放置すると糖尿病や心疾患の悪化が定期的にはチェックを

歯周病は慢性疾患であり、定期的にはチェックしていただくことが重要です。



流山中部地域包括支援センターのスタッフ一同(左から2人目が筆者)

みなさんの声が届くような病院づくりに取り組みたいと思います。

ホルター心電図とはなにか?!
ホルター心電図とは小型の機械を24時間、体に装着し自由に活動できる状態で心電図を長時間記録・解析する検査です。

通常の安静時心電図検査は、皆さん健康診断などで受けたことがあるかと思いますが、手足首に洗濯バサミのようなものを、そして胸に少し冷たいゲルを付けた状態で1分くらい仰向けのまま安静にならなければならない検査です。

この検査法を開発した Norman Holter (ホルター) 氏に由来します。医師でも生理学者でもないホルター氏(生物物理学者)がこの検査法を考案したのは驚きです。

今年4月に介護保険改正法が施行となり、改訂12年が経ち、さまざまな課題が見えてきたことで、制度はますます細かくなり複雑化しています。

高齢化に向けて整備した内容ですが、利用する方にとって時には

シリーズ けんさ 69

「みなさんの声が届くような病院づくりに取り組みたいと思います。」

「みなさんの声が届くような病院づくりに取り組みたいと思います。」

「みなさんの声が届くような病院づくりに取り組みたいと思います。」

「みなさんの声が届くような病院づくりに取り組みたいと思います。」

介護の現場から

地域包括支援センター(流山市) 利用者が安心して利用できるように丁寧な対応を心掛け

センター長 伊江さおり(主任ケアマネジャー)

わかりづらいのも事実です。たとえば訪問介護を利用する場合、今までは利用時間を30分・60分・90分と計算していたところ、20分・30分・45分・60分・70分に計算区分が変更になりました。

また同じサービスでも事業所によって料金が異なることもあり、理解していないとどうように選べばよいかかわりません。今まで安心して利用できていたものが改正によって不安を招くこともあるかもしれません。

東葛病院・付属診療所の医療活動

2012年3月分

付属診療所1日平均外来患者数		833人
東葛病院 主な検査	1日平均救急・夜間外来患者数	71人
	1日平均入院患者数	306人
	手術件数	76件
	血管造影	31件
	内視鏡	466件
	CT	952件
	MRI	349件
	心電図	939件
	腹部エコー	467件
	心エコー	314件
救急患者数	1485件	
内 救急車搬入件数	191件	



写真が講演者の大久保彰氏。医師と職員有志による寸劇

「成年後見制度」をテーマにした。3月17日流山市生涯教育センターで開催しました。88人が参加しました。

第5回公開講座概要報告
〔6月号で全文掲載〕

東葛病院倫理委員会

「成年後見制度」
第5回公開医療倫理講座を「成年後見制度を知ろう」をテーマに3月17日流山市生涯教育センターで開催しました。88人が参加しました。

医師と職員有志による「成年後見マン」に君もなれる」寸劇と行政書士の大久保彰氏が講演を行いました。今回は寸劇の概略のみをお知らせします。

高齡の一人暮らし女性。要介護1で年金暮らし。ケアマネージャーが訪問。女性に物忘れが増え、財布、預金通帳などをなくしては大騒ぎ。高額の置物を売りつけられた。ケアマネージャーは姪に悪徳商法の被害を伝えたい。そこへ成年後見マンが登場。成年後見制



1年経ったいまでも福島第1原発から20km圏で通行止めが続いている



秀島一徳さん

4月14、15日に、東京実医師と参加しました。京民医連が主催した福島現地視察に、戸倉直

福島市内にある福島農産物の産直カフェで、野菜や果物の直売所で買い物をしてきました。店長のお話で

は、やはり原発事故直後は地元の野菜はほとんど売れなかったそうです。出入り口には「すべての野菜に放射能検査しており、結果が未検出のもののみ販売しています」と張り紙がありました。当日の宿となる福島市内の旅館で4人の講師の話しを聞きました。とくに福島県労連女性部の佐藤晃子さんが、原発事故直後はどうしても福島県産の野菜を買うことを避けられず、とても悔しかったと涙

一刻も早い脱原発の実現を

秀島一徳（臨床工学士）

2日目は、原発作業の拠点となっているJヴィレッジへ視察に行きました。原発から20kmの距離で検問があり、それ以上は進むことができません。放射線量計測器で測定したところ、1・2μS/hもの放射線量を記録しました。ちなみにこの地域での原発事故前の放射線量は

0・05μS/hほどだったそうです。また、周辺の民家にはまったく人影がありません。津波被害を受けていたいわき市街、豊岡中学校周辺を視察し、改めて津波被害の凄まじさを目の当たりにしました。

今回の現地視察では、改めて原発の恐ろしさを実感させられました。福島に住む人たちに生涯消えることのない傷を残し、日本中の人々に健康不安をもたらした原発を、一刻も早くなくすよう脱原発を進めなければならぬと思います。

クロスワードパズル

空欄を埋めたらA~Iの順に文字をつなぐてください。それが解答です。

解答を「社保組織部」宛、あるいは直接ご持参ください。正解者の中から抽選で数名に粗品を差し上げます。

住所：流山市下花輪409
電話：04-71158-8317

たてのカギ

1 甘党⇔〇〇〇〇
2 その下。政治が腐敗すればこれが増えます
3 水辺に多いことが多い大型の哺乳類
4 ヤクルトの出しているピフィス菌飲料

よこのカギ

1 桃太郎の入った桃が流れてきたのは川のこちらから
2 日本語では「好敵手」
3 寿司のネタ。うまいけど高い。大〇〇、中〇〇
4 朝、〇〇、夜

放射能汚染問題について 実体験で学ぶ

被ばく医療委員会

4月6日、2012年度新入職員研修の一環として空間放射線量の測定について講義と実習が行われました。

東葛看護学校の講室で、中沢正夫医師を講師に「被災者のストレスケアー医療従事者として被ばく者に寄り添う」講演を行いました。多くの参加をお待ちしています。

測定は4班に分かれ、空間線量(μSv/h)について4台の測定器を使用し、担当委員がメンバーとともに指定箇所を測定しました。

「この地域は線量の高い地域(いわゆるホットスポット)」とは聞いていたが、実際に測定器の数値が上がるのを見てみると実感しました。「学んでみて改めて原子力政策の問題点を考えることができました」

「社会保障と税の一体」改悪反対 新人ナースの訴えに 署名257筆集まる

東葛病院社保・平和・地域活動委員会

東葛病院社保・平和・地域活動委員会では毎週、付属診療所で社会保障と税の一体改革に反対する署名行動を行っています。

署名をお願いします。増税は困ります」と快く署名に応じてくれる方がいる一方、「国軍軍費、政党助成金などムダを削り、特権的な大企業、大金持ち減税をやめ、富裕層への応分の負担で財源を」と説明しました。

4月9日は友の会の69行動日です。今年入職した看護師も参加し、署名を集める新入職した職員

借金を返すどころか「増税に賛成の方が多い」と嘆息する方もいます。職員は「大型開発、軍事費、政党助成金などムダを削り、特権的な大企業、大金持ち減税をやめ、富裕層への応分の負担で財源を」と説明しました。

4月9日は友の会の69行動日です。今年入職した看護師も参加し、署名を集める新入職した職員

「この地域は線量の高い地域(いわゆるホットスポット)」とは聞いていたが、実際に測定器の数値が上がるのを見てみると実感しました。「学んでみて改めて原子力政策の問題点を考えることができました」

新入職員研修

病院内では低かった数値が屋外に出ると明らかに上昇。アスファルト路面、草地部分、側溝の雨水滞留部分など地面状況による放射線量の差異について自らの測定によって実感しました。

新入職員は「この地域は線量の高い地域(いわゆるホットスポット)」とは聞いていたが、実際に測定器の数値が上がるのを見てみると実感しました。「学んでみて改めて原子力政策の問題点を考えることができました」

*「友の会」サークルの日程は「健康のきずな」紙に掲載されております。